

政治学委員会人口減少下の行政・地方自治分科会

(第26期、第3回〔2024年度第2回〕)

議事要旨

I 日時・場所 令和6年10月13日(日)10時～12時、Zoom会議

II 出席者 伊藤正次、出雲明子、入江容子、岩永理恵、北山俊哉、嶋田暁文、豊田光世(環境学委員会環境思想・環境教育分科会委員長)、中澤高志(地域研究委員会縮小社会の地域構想分科会委員長)、原田久(あいうえお順、敬称略)

III 議 事

1 地域研究委員会縮小社会の地域構想分科会及び環境学委員会環境思想・環境教育分科会との連携について

・連携のあり方として、合同シンポジウム、書籍づくり、合同勉強会など多様な方法が提案された。

・まずは次回の日本地方自治学会でのシンポジウムの企画に際して、「縮小社会の地域構想分科会」からのご意見等があれば、あるいは、討論者としてご参加いただければありがたいという話があり、それに対して了解した旨の対応がなされた。

・合同シンポジウムをめぐっては、登壇者として適任な方を他分科会に問い合わせ、ご紹介いただくなどの連携も考えられる。

・公募分科会のしくみを活用することも考えて良いのではないかと。ただし、その場合に登壇要件など、学会独自のルールがありうるので、場合によってはルール改正を要するかもしれない。

・特に、実務家をお呼びする際に(「実務家」と言っても分野によって想定が異なりうることから)他分科会にご相談することで、より幅広い関係者にアプローチできるかもしれない。

・次回の経済地理学会北東支部地域大会(函館で開催予定)との共催シンポジウムに「人口減少下の行政・地方自治分科会」からも数名参加する、逆に、日本行政学会、日本地方自治学会、自治体学会の研究大会に「縮小社会の地域構想分科会」からもお越しいただくような形で、まずは負担感のない形で交流することから始めてはどうか

・「縮小社会の地域構想分科会」の研究会の案内を「人口減少下の行政・地方自治分科会」にも共有させていただくとよいのではないかと。

- ・「縮小社会の地域構想分科会」に関わっている原田、嶋田も、その議論内容等を、適宜転送するなどして、「人口減少下の行政・地方自治分科会」内で共有できるように努めてはどうか。

- ・地域福祉の世界で語られていることと行政学の世界で語られていることとが乖離していることも多い。対話する場があると良い。

- ・互いに知りたいと思う内容を学ばせてもらえるような Zoom 上での勉強会を合同で企画してみてはどうか。

- ・いずれにせよ、人口減少下の行政・地方自治分科会に集っている連携会員の共通ディシプリンである行政学においては公務員集団に焦点を当てた研究蓄積があり、その観点から連携できる部分を模索していきたい。

2 その他

- ・特になし

以上